

治水事業の効果

～平成25年7月26日からの大雨等における事例～



国土交通省 水管理・国土保全局

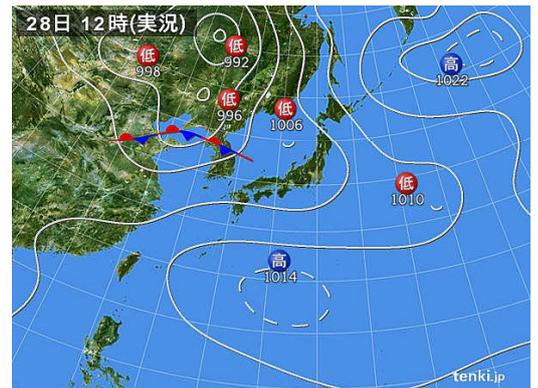
平成25年 8月

7月26日から8月2日にかけて、暖かく湿った空気の流れ込みにより、西日本から北日本の広い範囲で大気の状態が非常に不安定となり、このため、局地的に激しい雨が降りました。

この大雨により、東北地方から中国地方の広範囲で浸水等の被害が発生しました。特に、山口県と島根県では、7月28日の午前中を中心に記録的な大雨となり、県管理河川等で大きな被害が発生しており、早期の復旧を支援してまいります。

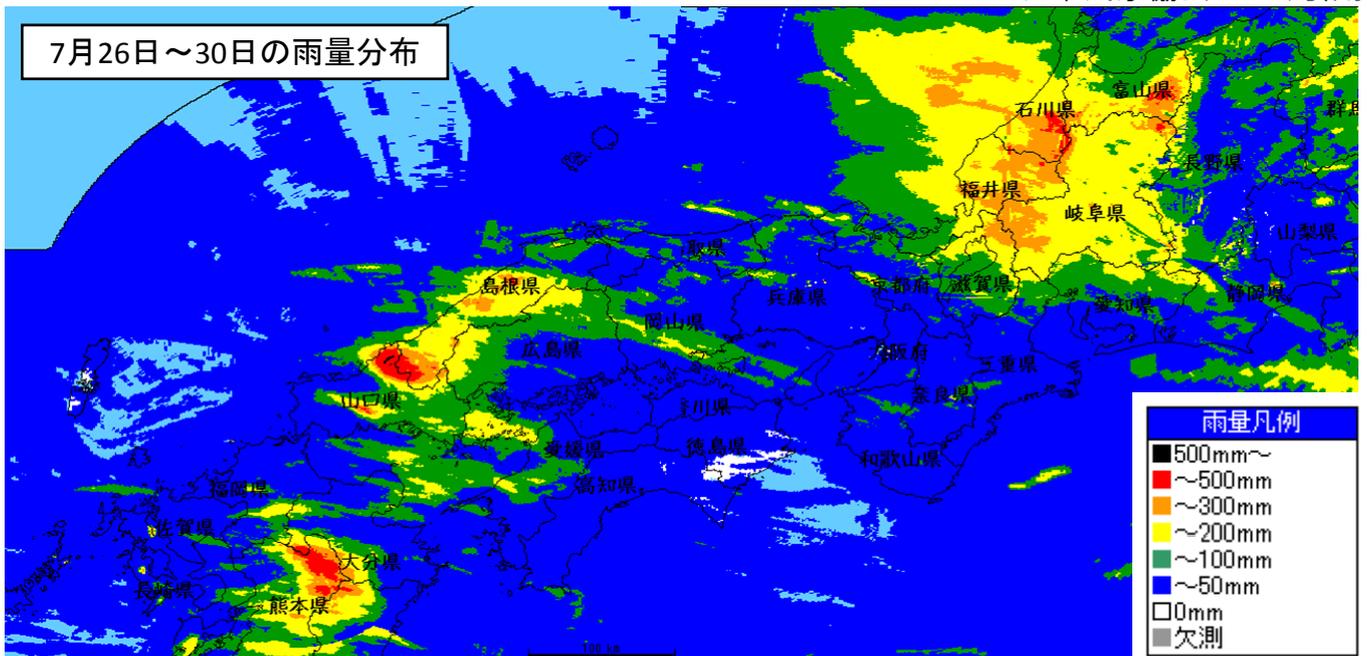
一方で、整備した治水施設は効果を発揮しています。

天気図(7月28日12時)



日本気象協会HPより引用

7月26日～30日の雨量分布



被害の状況



山口県 須佐川水系須佐川



山口県 山口市阿東嘉年下

全国の一般被害状況

(消防庁調べ8月3日17:00現在より抜粋)

死者	3
行方不明者	2
床上浸水戸数(棟)	694
床下浸水戸数(棟)	2,892

放水路整備が効果を発揮(石川県 粟津川) (県管理)

- 粟津川では、昭和56年7月洪水による温泉街の浸水被害を受け、市街地を迂回する放水路を整備(H24年3月:整備完了)
- 平成25年7月29日の梅雨前線豪雨では、床上浸水29戸、床下浸水80戸の被害があった**昭和56年7月洪水を上回る規模の雨量**を記録したが、河川改修事業で整備した**放水路が効果を発揮し、温泉街で浸水被害は発生しなかった。**

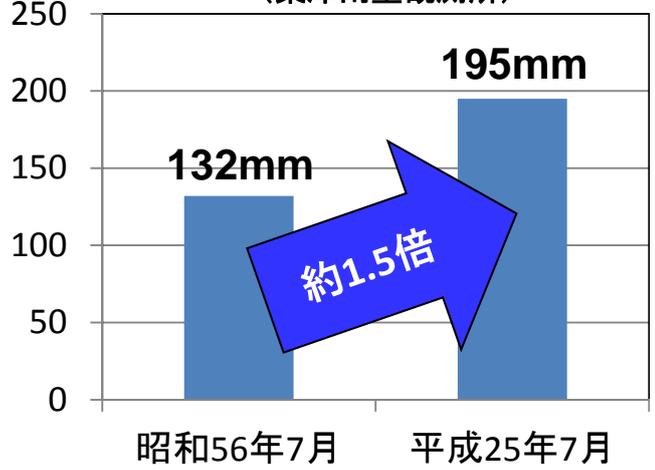


平成10年の温泉街の浸水被害

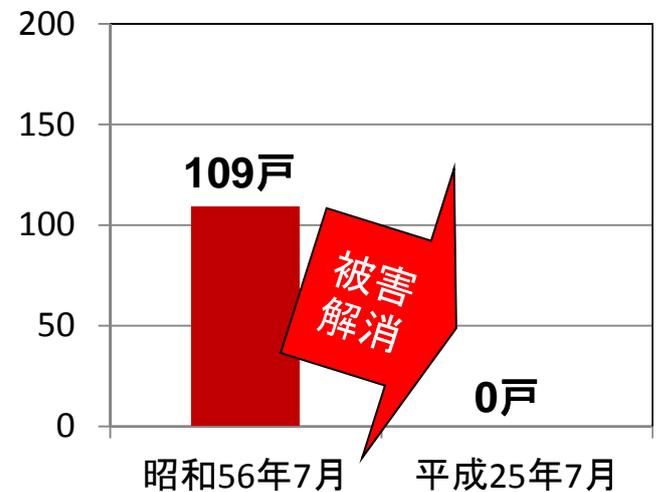


放水路分流点の状況

降雨量の比較(日雨量)
(粟津雨量観測所)



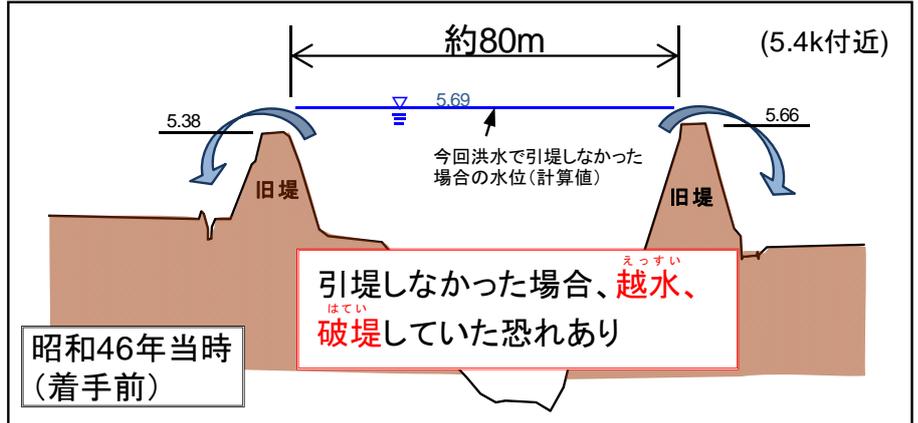
浸水戸数の比較



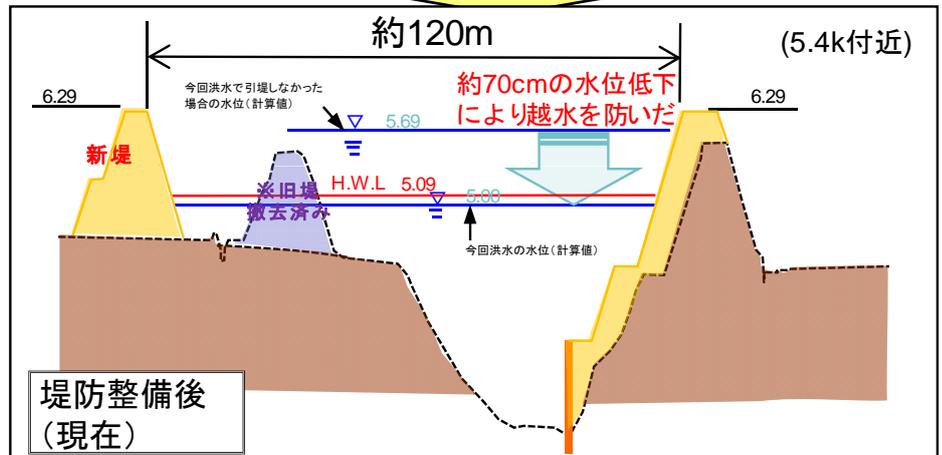
※本資料の数値等は速報値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

堤防整備が効果を発揮(石川県 梯川) (国管理)

○梯川では、7月29日の1日で平年の7月1ヶ月間分の雨量を記録。
 ○小松市を貫流する下流部において、埴田観測所で計画高水位に迫る観測史上最高水位を記録したが、これまでの堤防整備により、**整備前と比べて約70cm水位を下げることができ、越水、破堤を未然に防ぐことができた。**

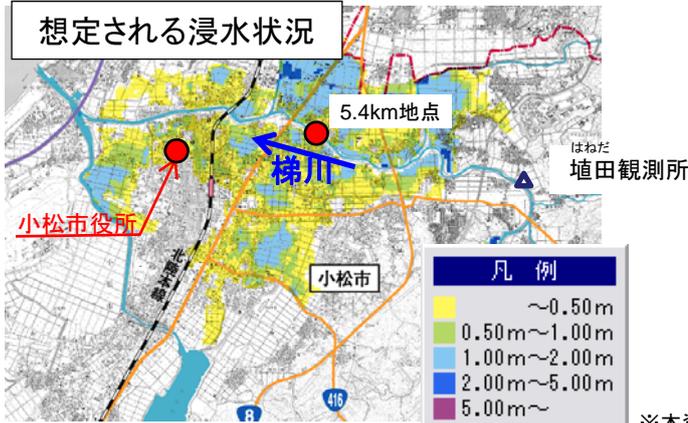


川幅を1.5倍に拡幅し、堤防を整備(引堤)



引堤整備前に、今回の洪水とほぼ同じ規模の洪水が流れて梯川が氾濫した場合

想定される浸水状況



想定される被害の概要

総被害額(億円)	1,694
被災人口(人)	21,594
床上浸水戸数(戸)	3,125
床下浸水戸数(戸)	4,280

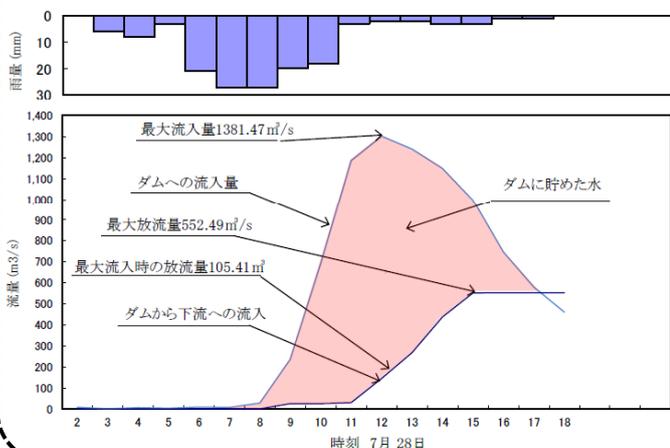
※本資料の数値等は速報値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

ダム整備が効果を発揮(山口県 阿武川) (県管理)

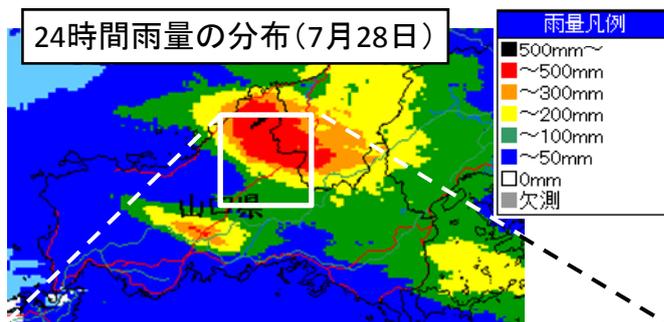
あぶがわ

- 山口県の阿武川では、7月28日、降り始めからの総雨量が流域平均で145mmとなった。
- 萩市中心部を貫流する阿武川では、阿武川ダムで洪水調節することにより、下流部(萩市中津江地点)では**ダムが無かった場合の推定水位に比べ約3.4m水位を下げる**ことができ、**浸水被害等を未然に防ぐ**ことができた。

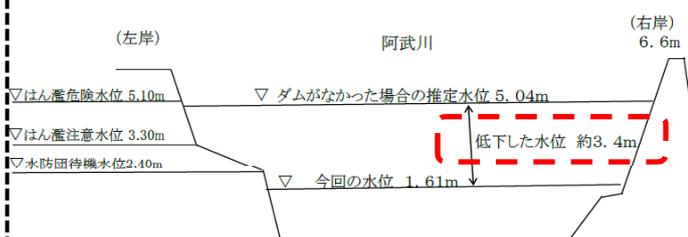
阿武川ダムによる洪水調節※ (平成25年 7月28日大雨における出水)



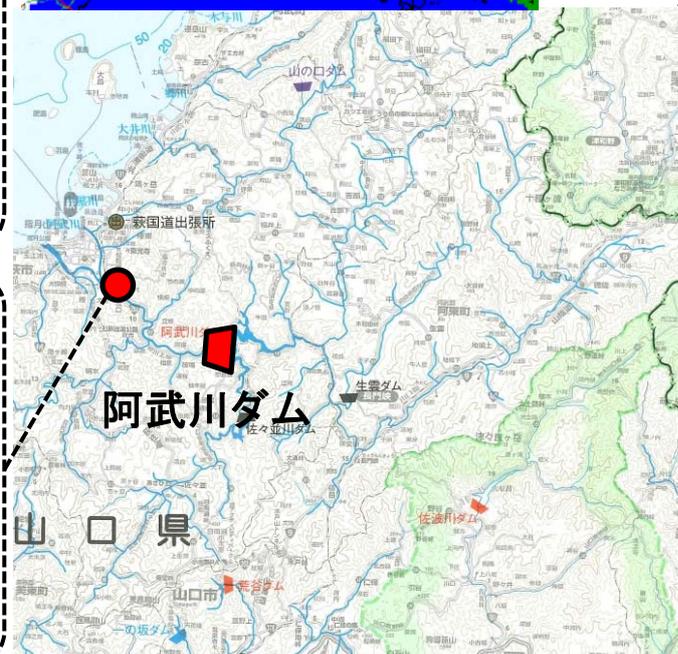
24時間雨量の分布(7月28日)



阿武川 中津江地点の河川水位※ (平成25年7月28日大雨におけるダムの効果)



※山口県公表資料を加工



位置図



国土交通省水管理・国土保全局 河川計画課
〒100-8918
東京都千代田区霞が関2-1-3
Tel:03-5253-8443

※本資料の数値等は速報値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。